

山口明湖会

定例の山口地区納涼祭

広報委員 白井 雅人

今年も山口地区公会堂で八月十六日（十六日固定）に納涼祭が行われました。

今年も夏はとても暑く、炎天下での準備は大変でした。当日は、自治会役員、例年協力していただいている有志メンバーの方々に、机、椅子、テント、コンロ、焼きそば等の料理食材準備、冷たい飲み物は各家庭で作製した氷を持ち寄り冷やして準備しました。

開催時刻になると道々から住民が集まり、百人を超える人たちが焼きそばなど準備した食べ物を食べ、ひと時のだんらんを楽しみました。

次の行事は、子どもたちの水風船釣り。一人で複数のヨーヨーを手にして満面の笑みを浮かべていました。

子どもたちの笑い声が響く中、メイン行事になったビンゴゲームに移り、参加者全員で

ビンゴを楽しみました。区民の方からの様々な寄付品もあり、ビンゴが成立するたびに歓声が上がりに、今年から開催した行事でしたが大いに盛り上がりました。

最後は、花火大会が実施され、最近では煙や火の問題で難しくなっていると感じています。が、子どもたちは順番に花火を手にして楽しんでいました。

チャッカマンで火をつける役員に子どもが整列して並び『お願いします』と一言言ったり、火の始末を各自でバケツに消火したりするなど、ルールを学ぶ一面も見られました。本当に楽しい時間でした。

山口地区では高齢化が進み、地域住民と顔を合わせる機会が減ってきています。この納涼祭では、地方に出て行った若者が子どもと共に戻って顔を合わせるなど、貴重な時間が得られました。

コロナ禍後で最も盛り上がった納涼祭になったと思います。

